

淫紋を
付与されたら

ゴブリン
を使った
話

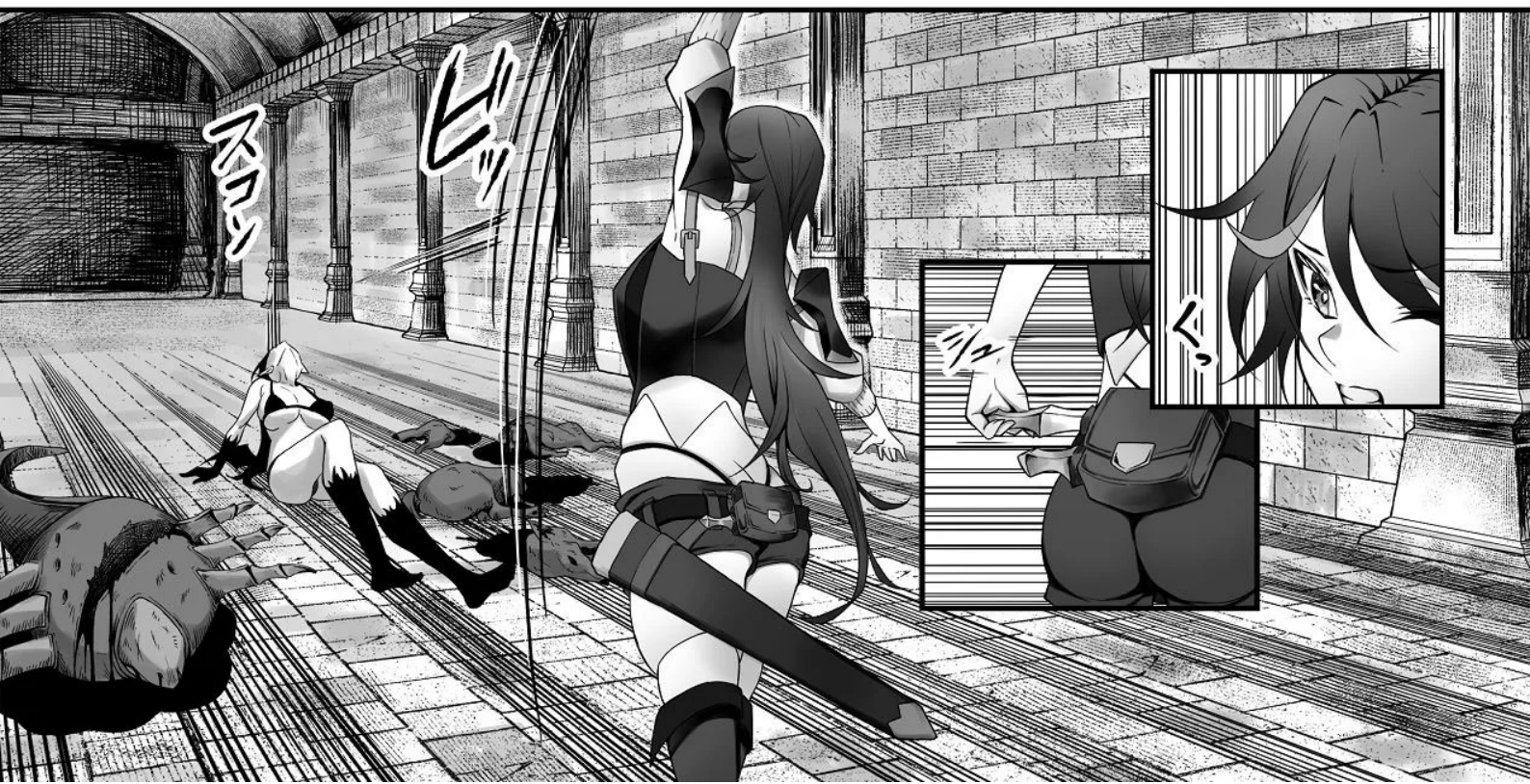
R18
ADULT ONLY
鉄塊ブレイド





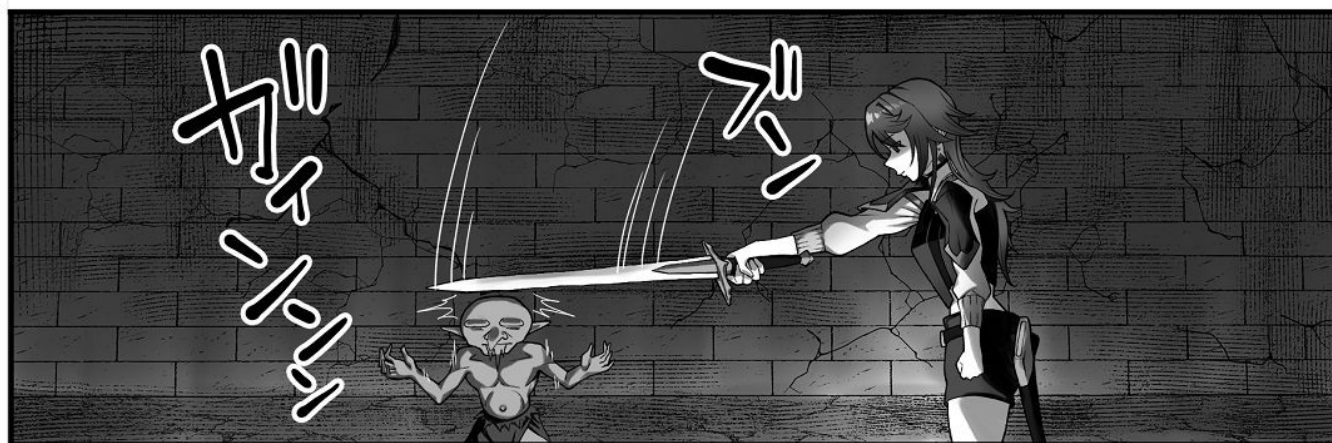


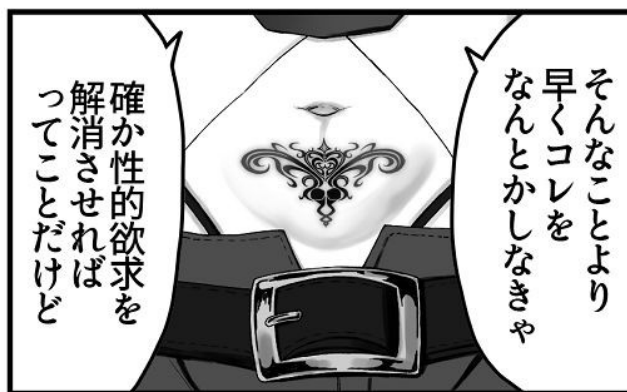














んっ...



まさか
ジャンから
誘われるなんて...



ん

ん

ん

ふふっ
二人っきりで
だっ

早く解除して
合流しないと♡

クチクチ

クチクチ

だめじゃん
そんな
いきなり

クチュ
クチュ
クチュ

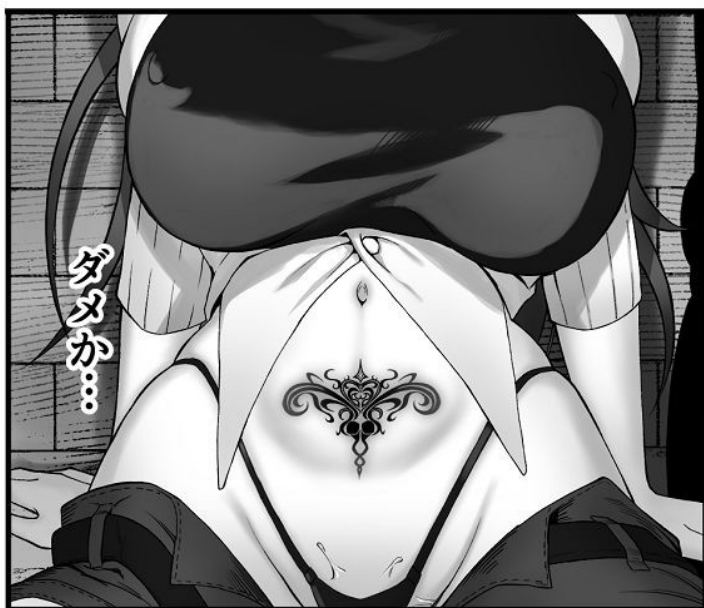
クチュ
クチュ
クチュ

いやっ
そんな
したら

クチュ
クチュ
クチュ

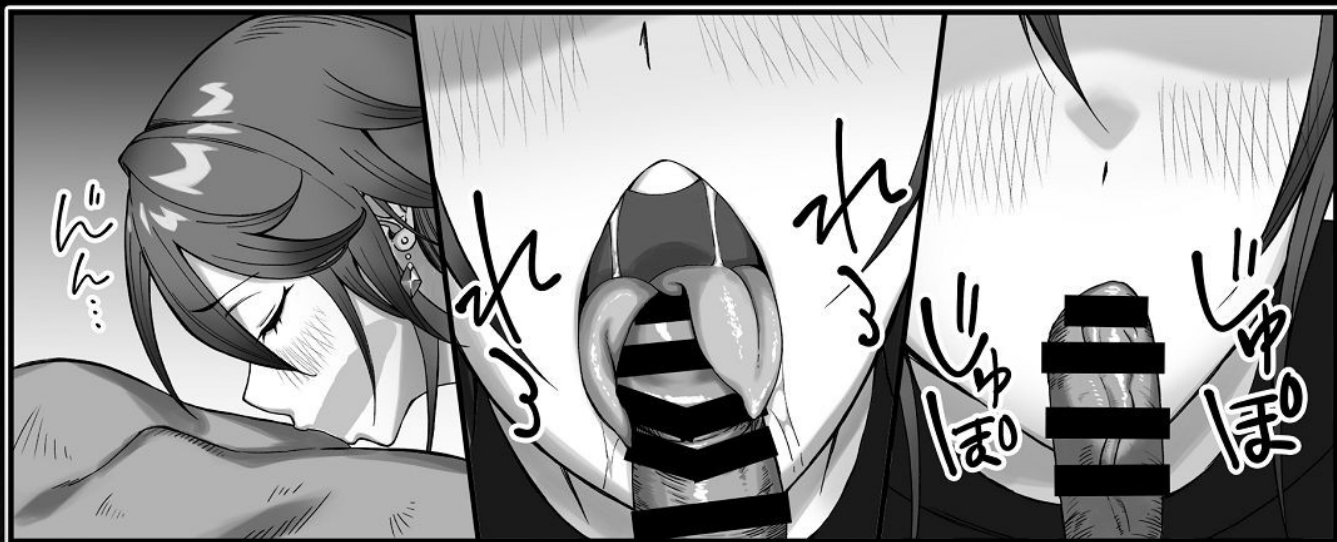
ああつダメっ
イクツ
イっちゃう











あははははは





おっきい...



もう少し
硬くしとくか...

でも...
体の割に
立派なモノ
持ってるのね...



...って何っ
見惚れてるんだ
私はっ!





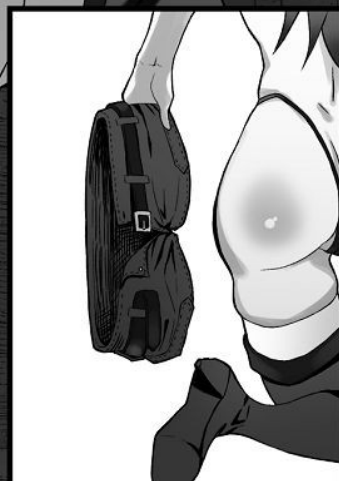
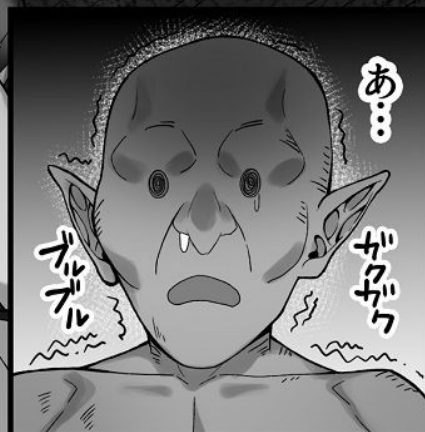


騒いだり
襲ってきたら

コレ…
ちよん切るから

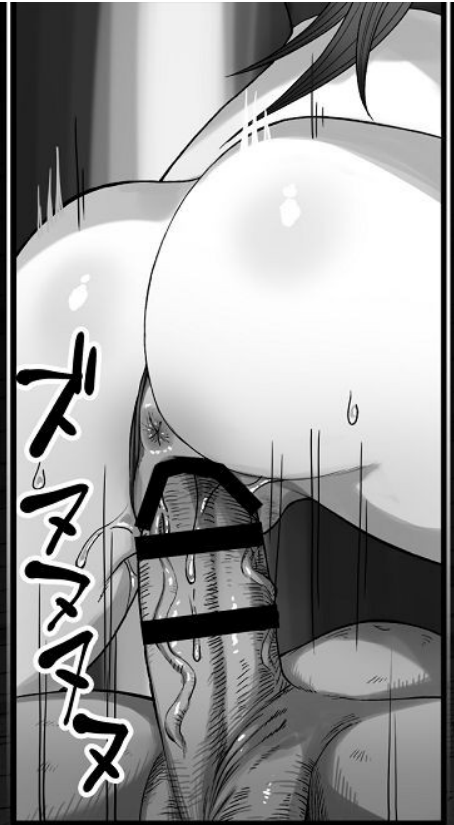
何言っただ
私はーっ!!

モンスターが
こんなことで
怖気付くわけ…



いい子ねそのまま
大人しくしてなさい

ちよつとコレ
借りるだけ
だから

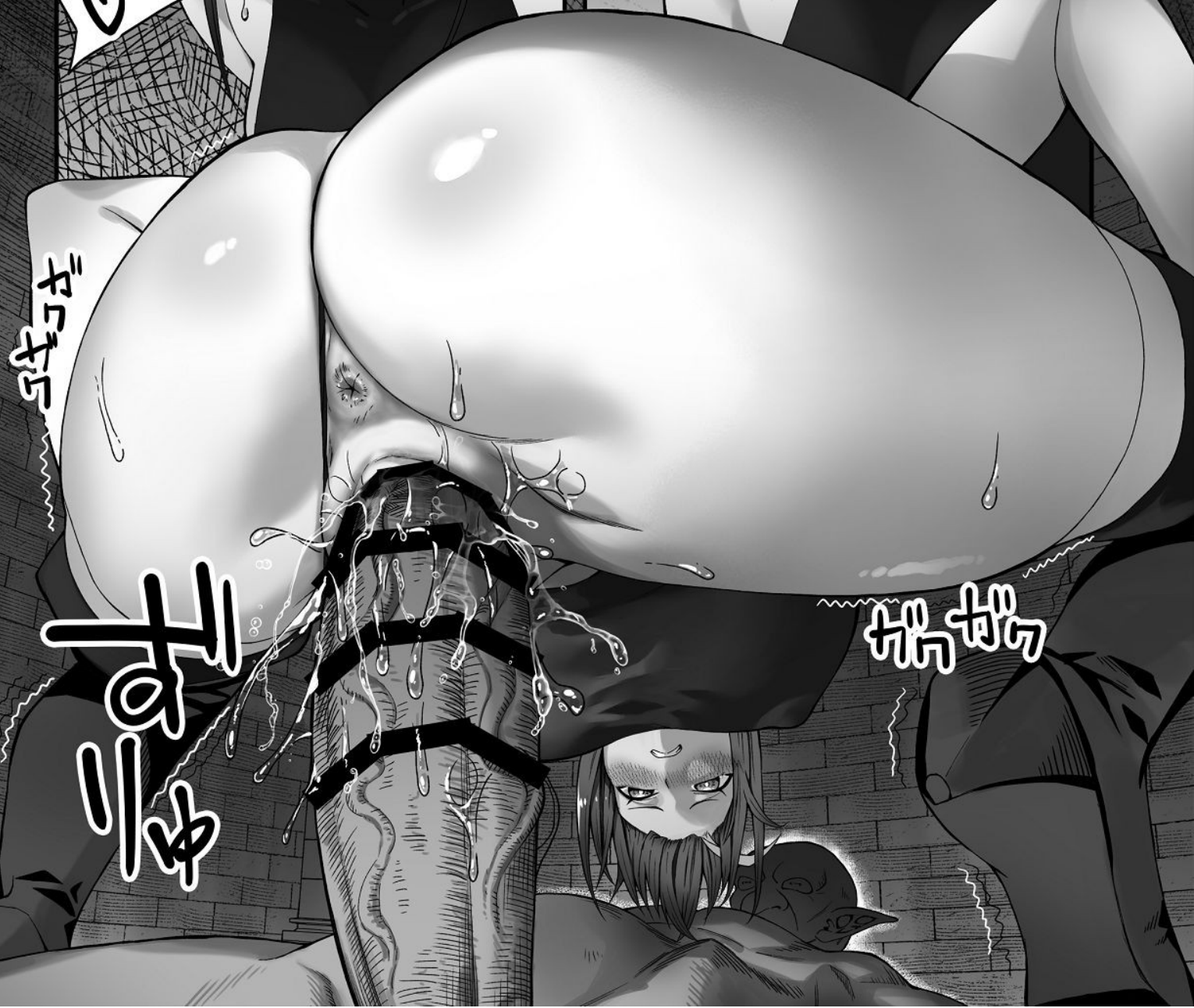


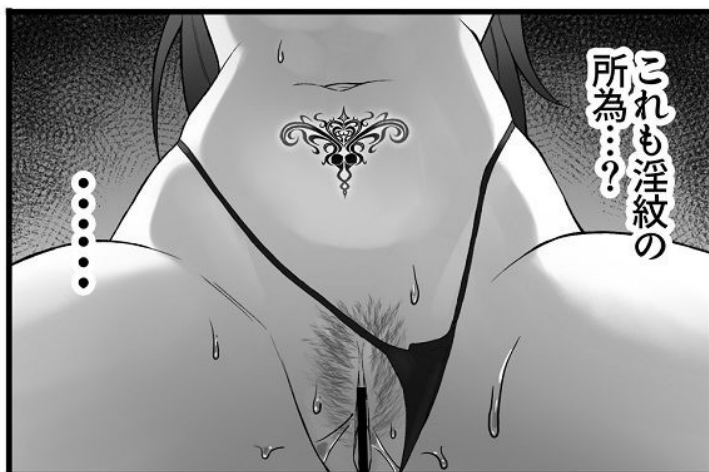
いれ
挿入ちゃった...

はあ
はあ

ゴブリンの
チンポ...

もう後戻り出来ない



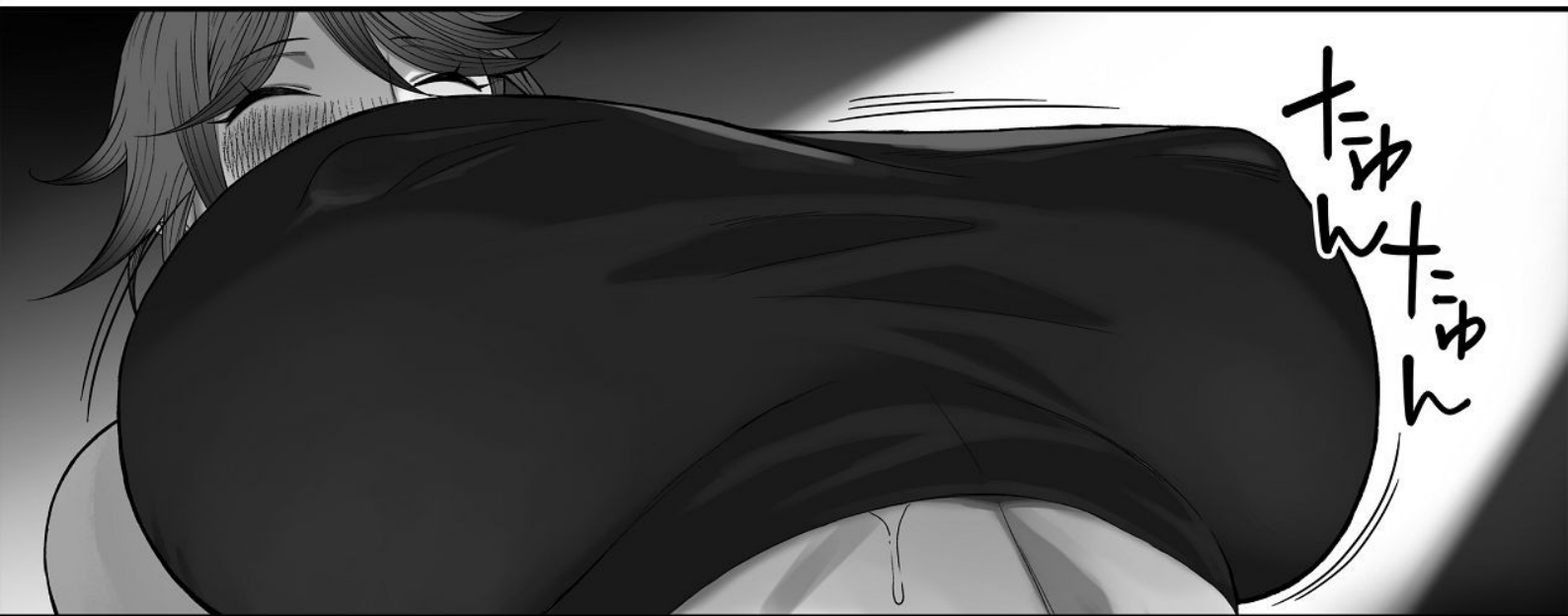


くっ
恥ずかしくて
死にそう

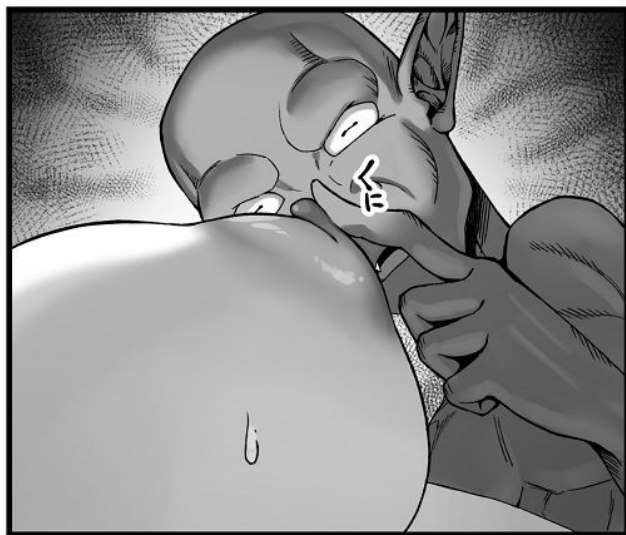
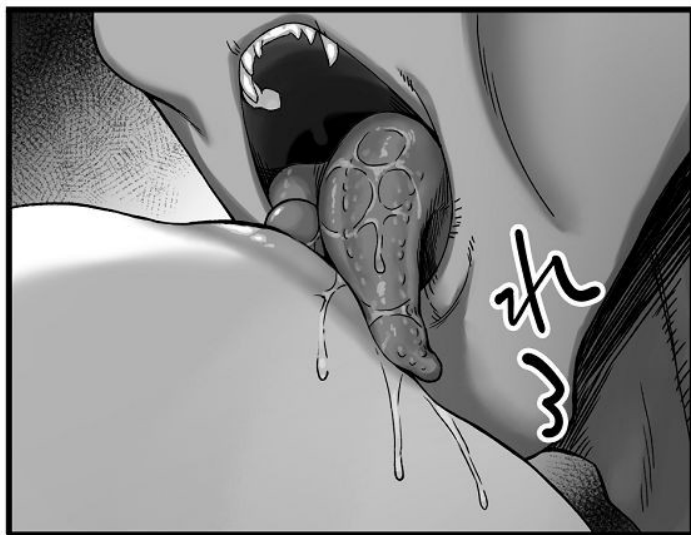
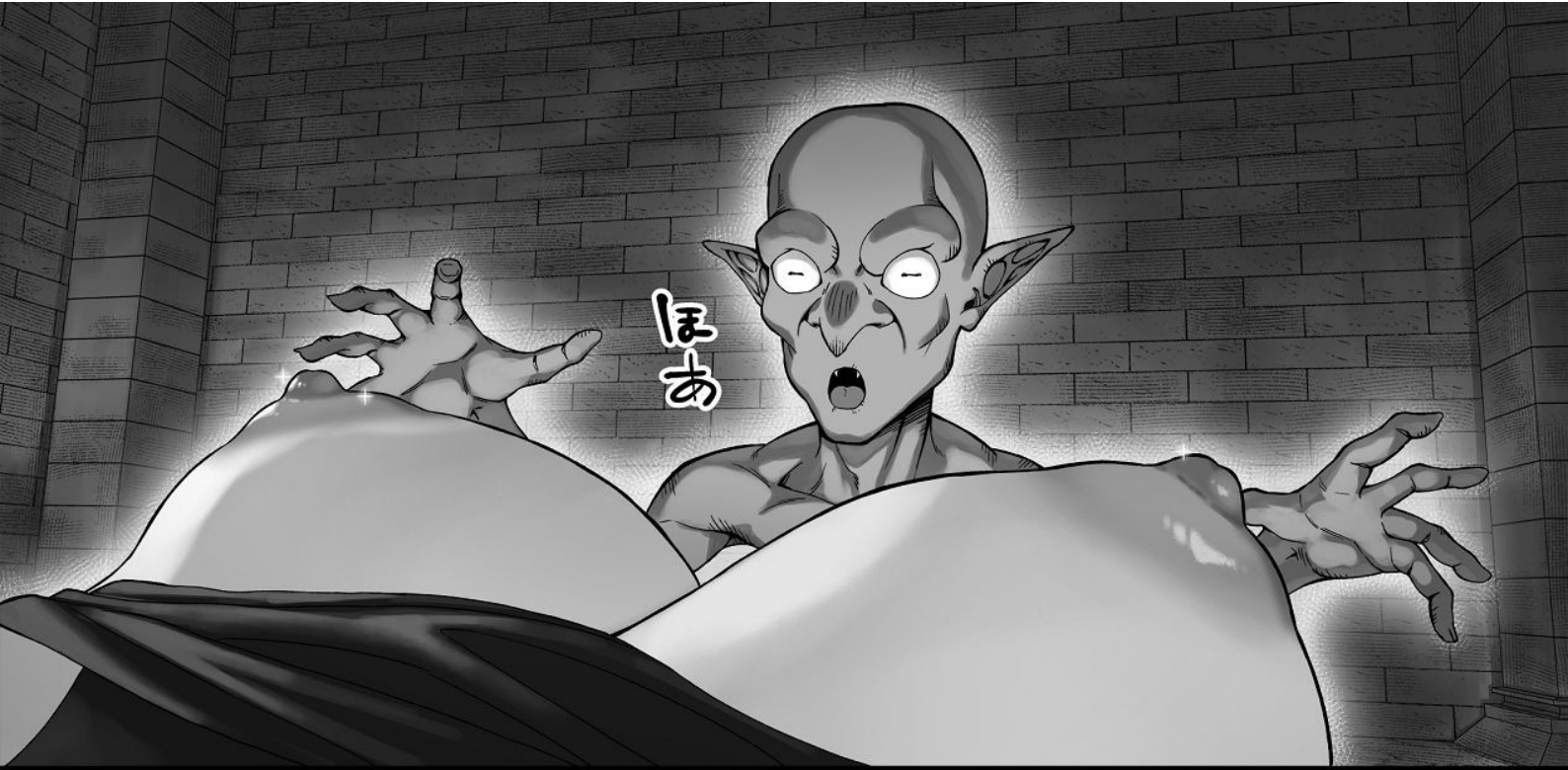
自分から広げて
誘うなんて!!!













ほあ
あ
あ
あ

どろろ



あ
ん
ッ



娯楽の少ない
ゴブリンにとって

打てば響く女体は
乾いた砂漠に
突如現れた泉の
如く五感を潤し

貪る様に
目の前のメスに
夢中になつていった

ず
ちゅ

ほ
ちゅ

ほ
ちゅ

ず
ちゅ

ず
ちゅ

ほ
ちゅ



れろ
れろ
れろ
ちよつとサービス
し過ぎたかな？



んんん
んんん

なんだか
調子に乗って
来たわね！

ビクッ



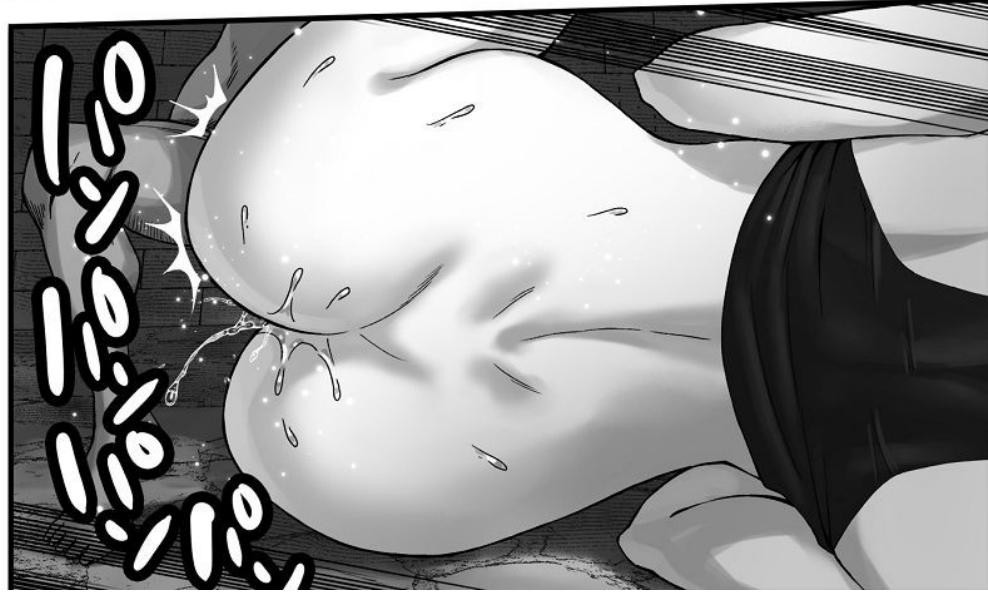
まあでも
今はこれでいっか

ズキッ

サッサと
淫紋を解除して
ここから
出ていけばいいし

その調子で
早くイかせてよね







ザッザッザッ

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

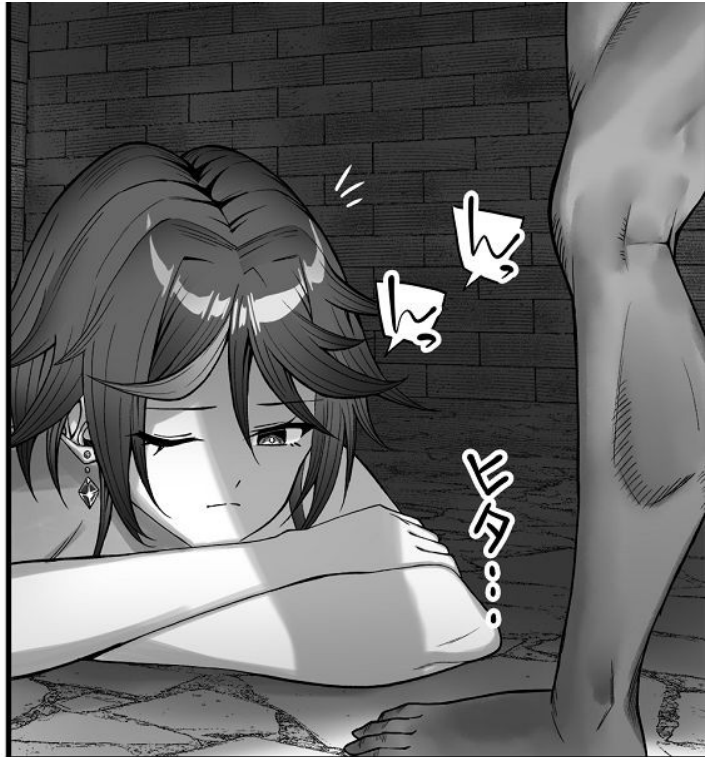
ズン

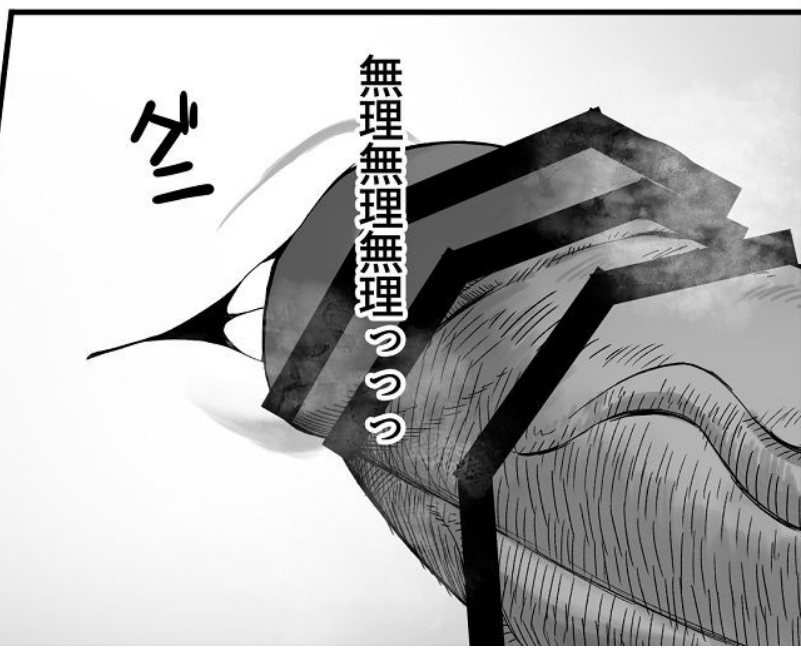
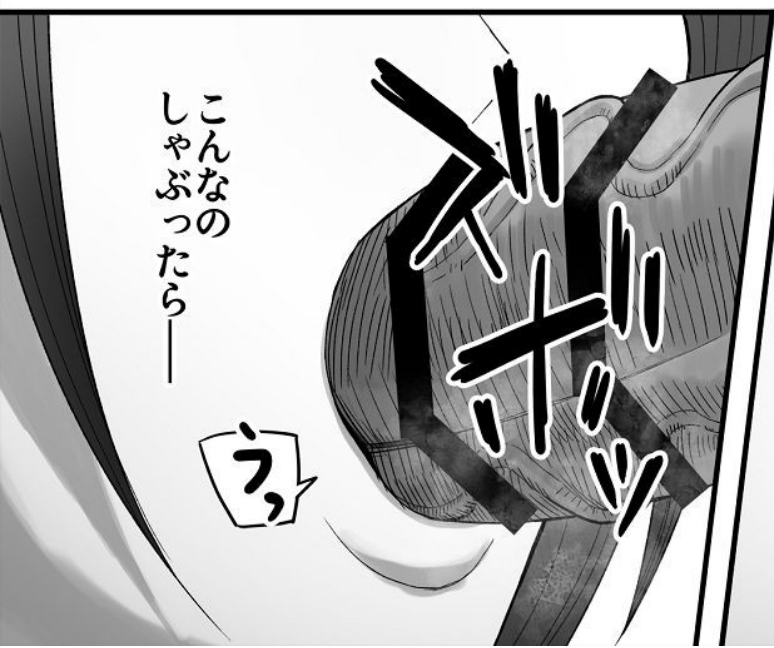
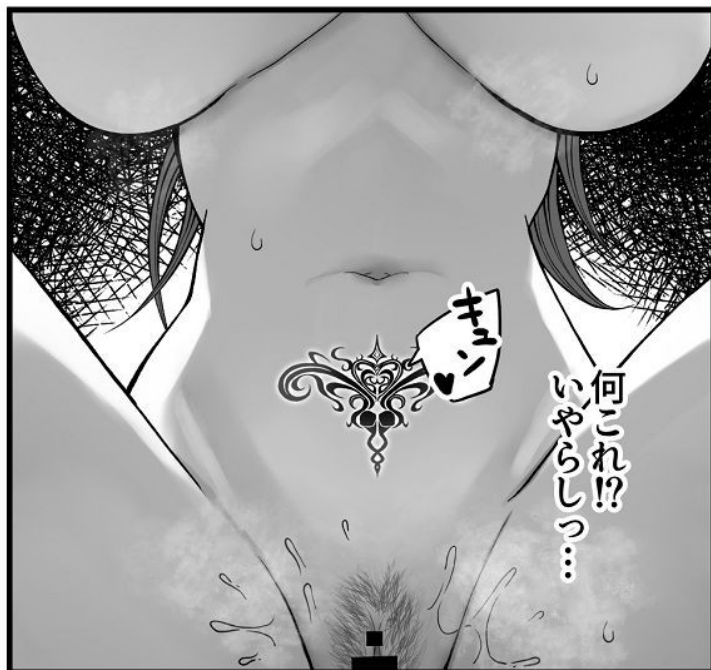
ズン

はあ
はあ









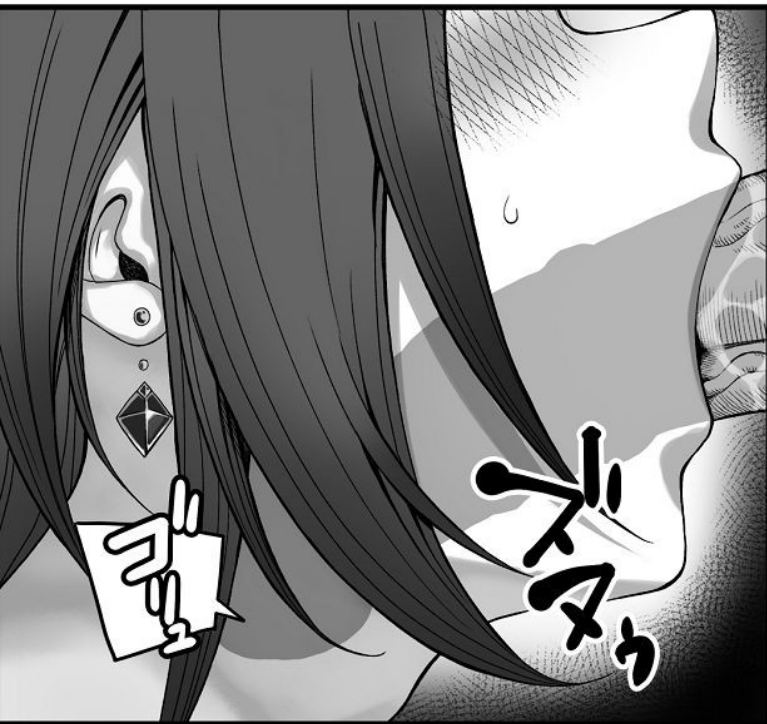




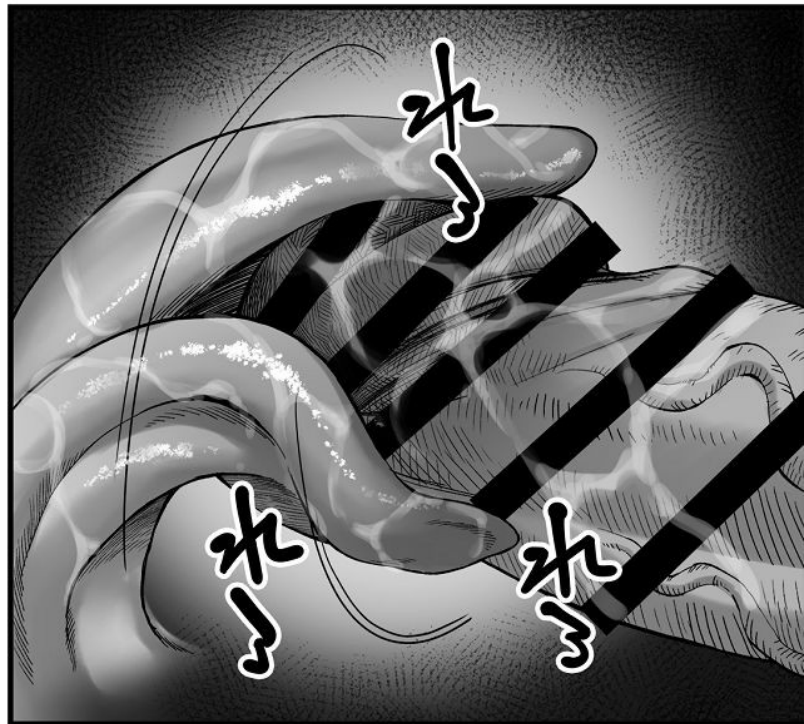
こんな貧弱な
下等モンスター
ぶときに

なんで…?

そんな訳ない…
こんなチンポ
なんか…



ズ
マッ



水

水

水



ゴブリン
相手に…

欲情…なんて…

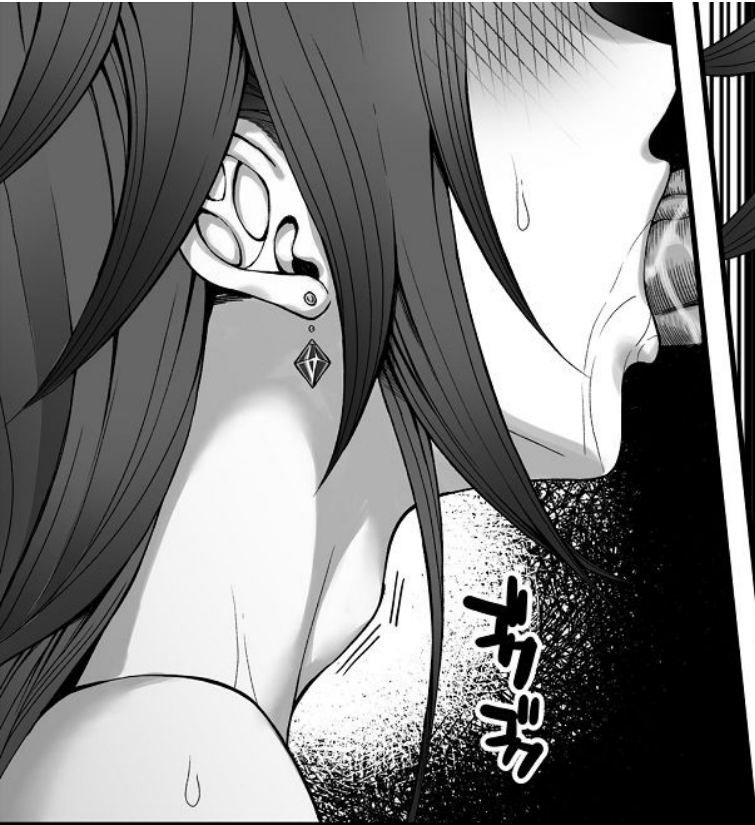
じゅ
ぽ

じゅ
ぽ

じゅ
ぽ

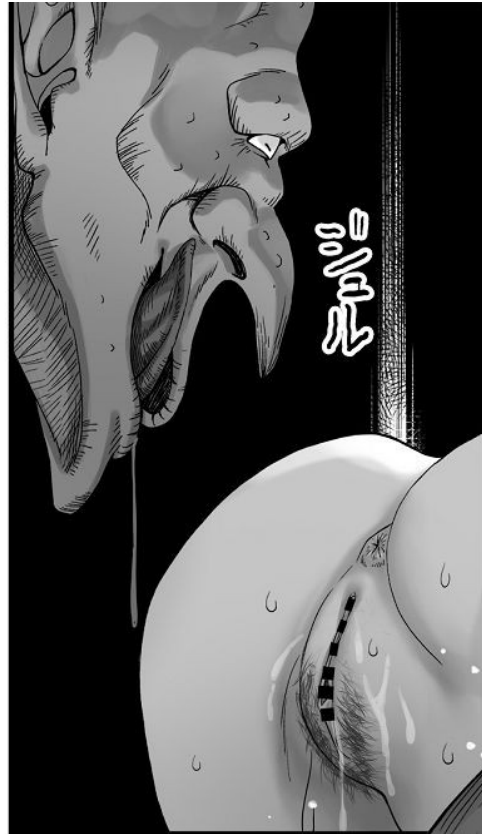
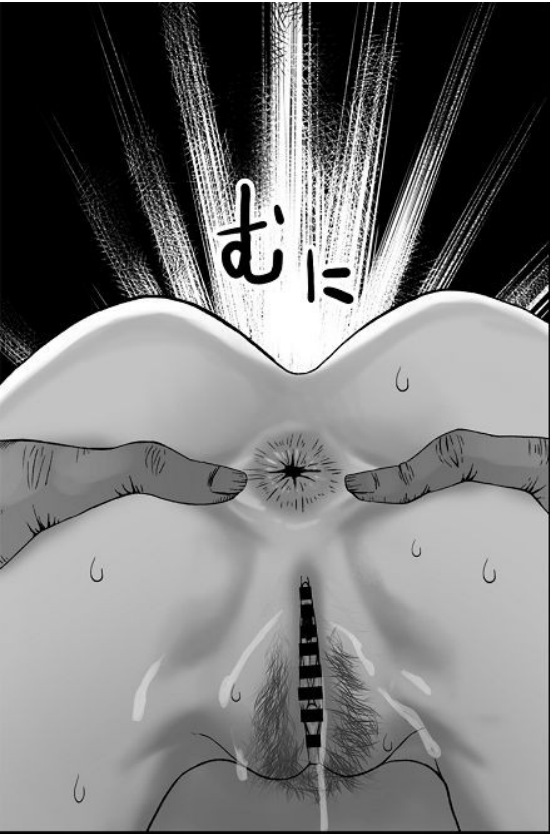
じゅ
ぽ

する…わび…













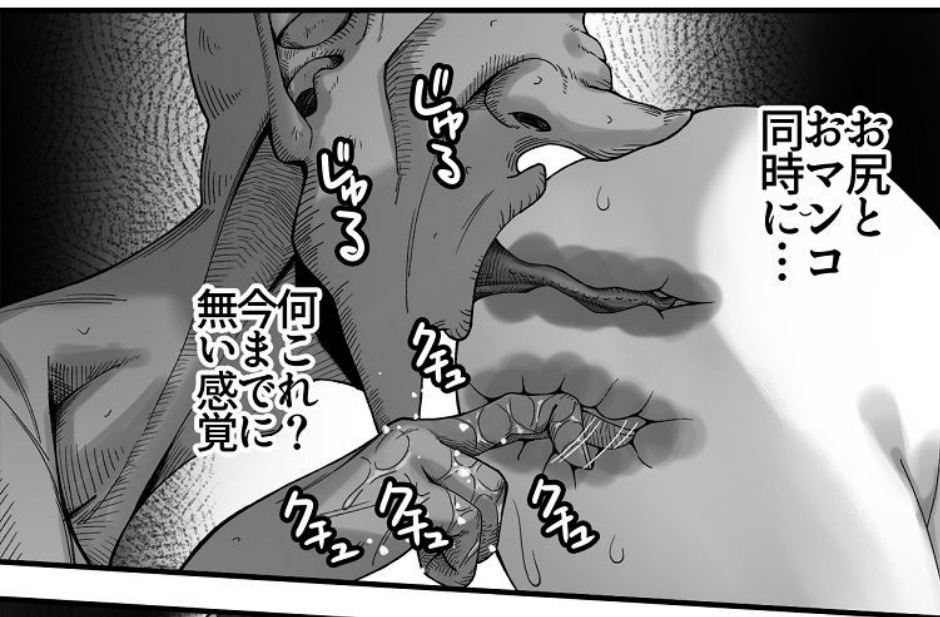
ズ
ズ
ズ



ズ
ズ
ズ

お尻に
舌を挿入
なんて

ズ
ズ
ズ



何これ？
今までに
無い感覚

お尻と
おマ
同時
に...

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ



ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ



ゴブリンの...
クセにつ...ん

ズ
ズ
ズ

指使い...ん
うま...イイ...

ああ...
イイ...かも...
気持ちいい...

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ





このっ
いい加減に――

ぽ



あ

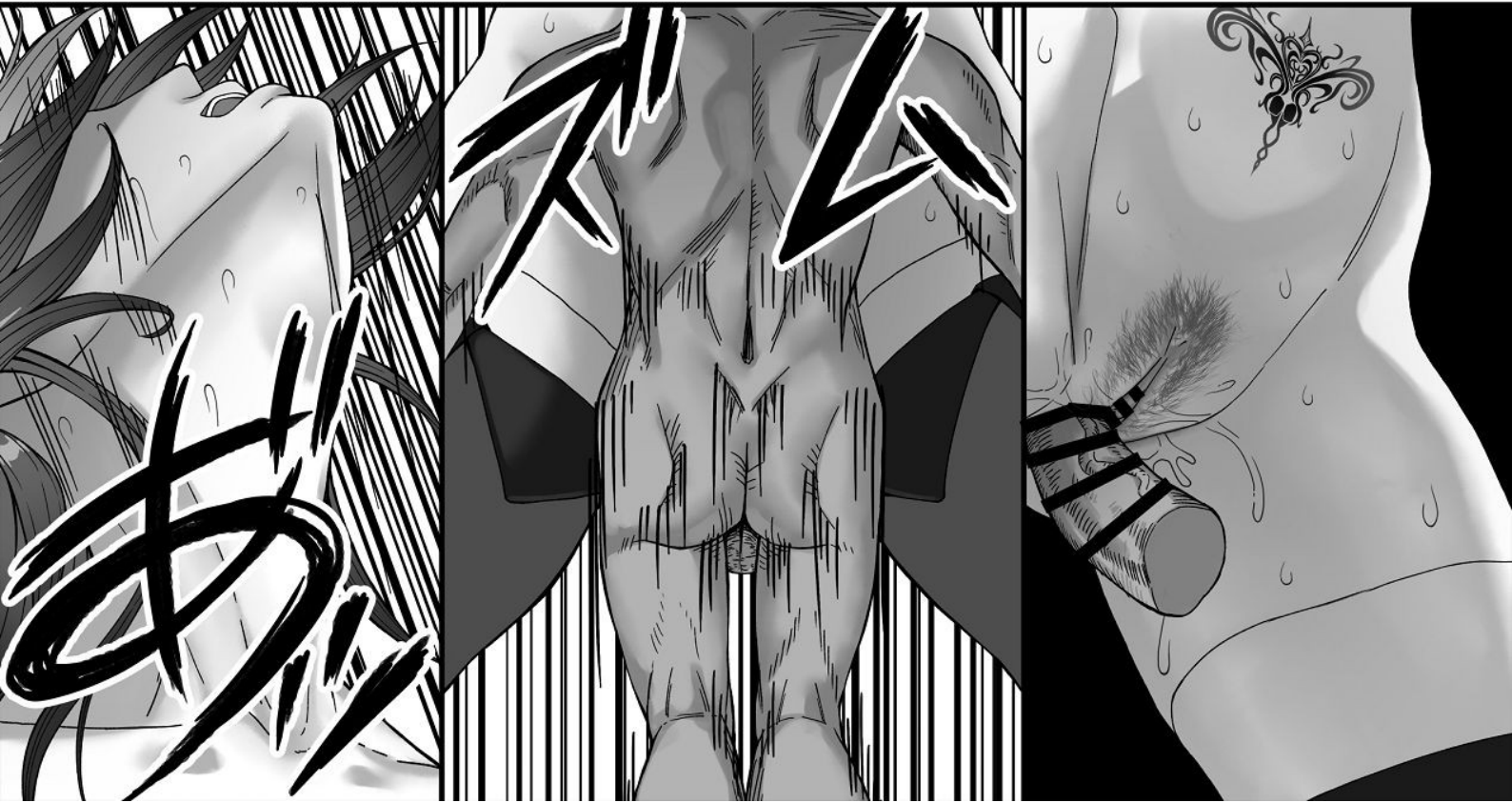


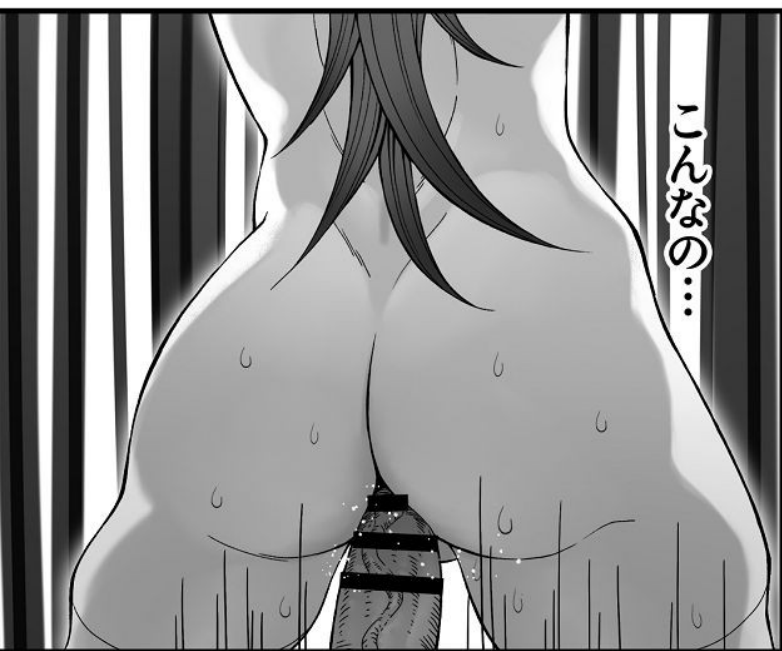
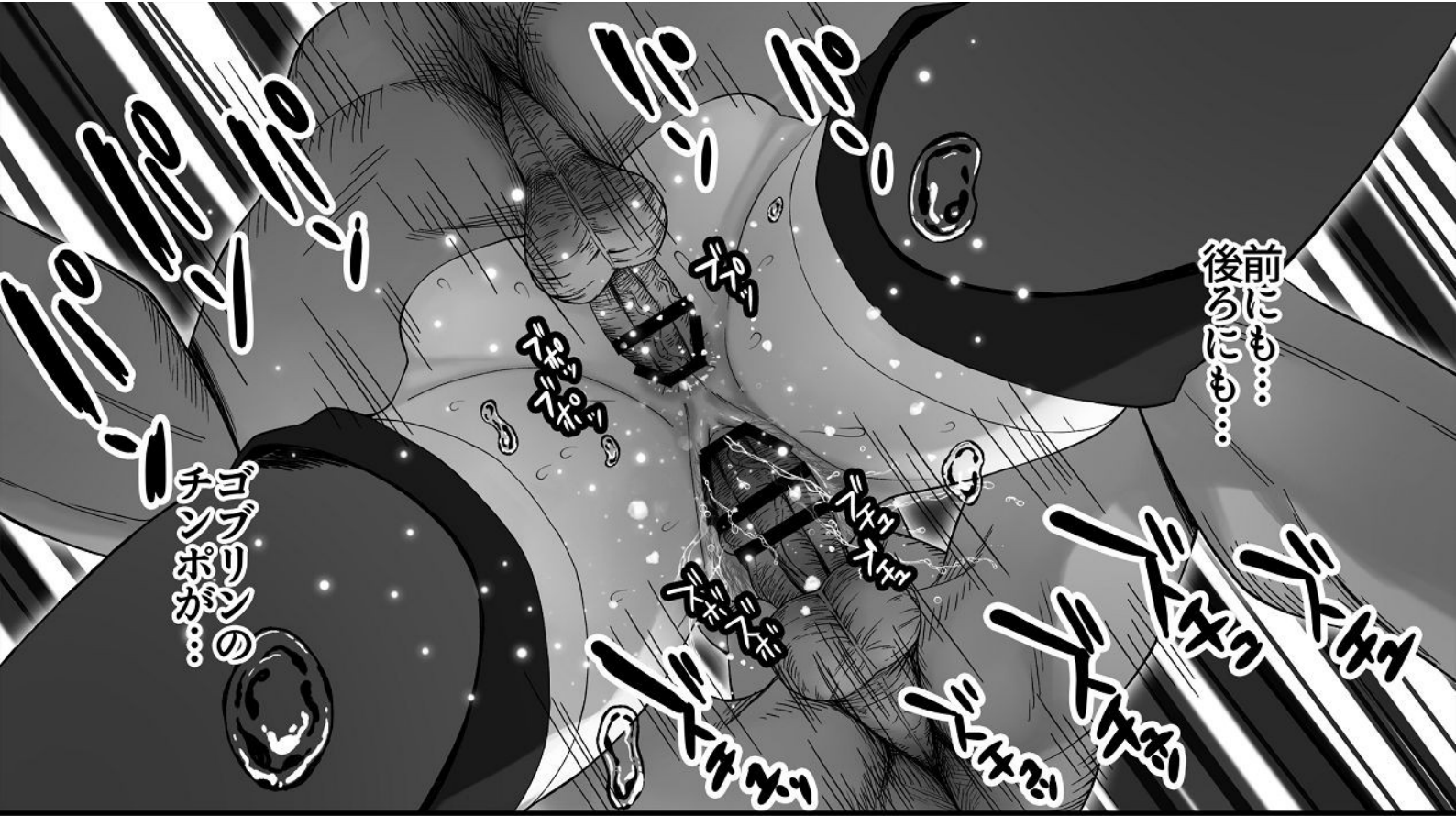
えっ？



ぽ







知らないっ

こんなの
の知らないっ
!!









くくるくくる

きちゃう

くぐ

くぐ

くぐ

くぐ

くぐ

くぐ

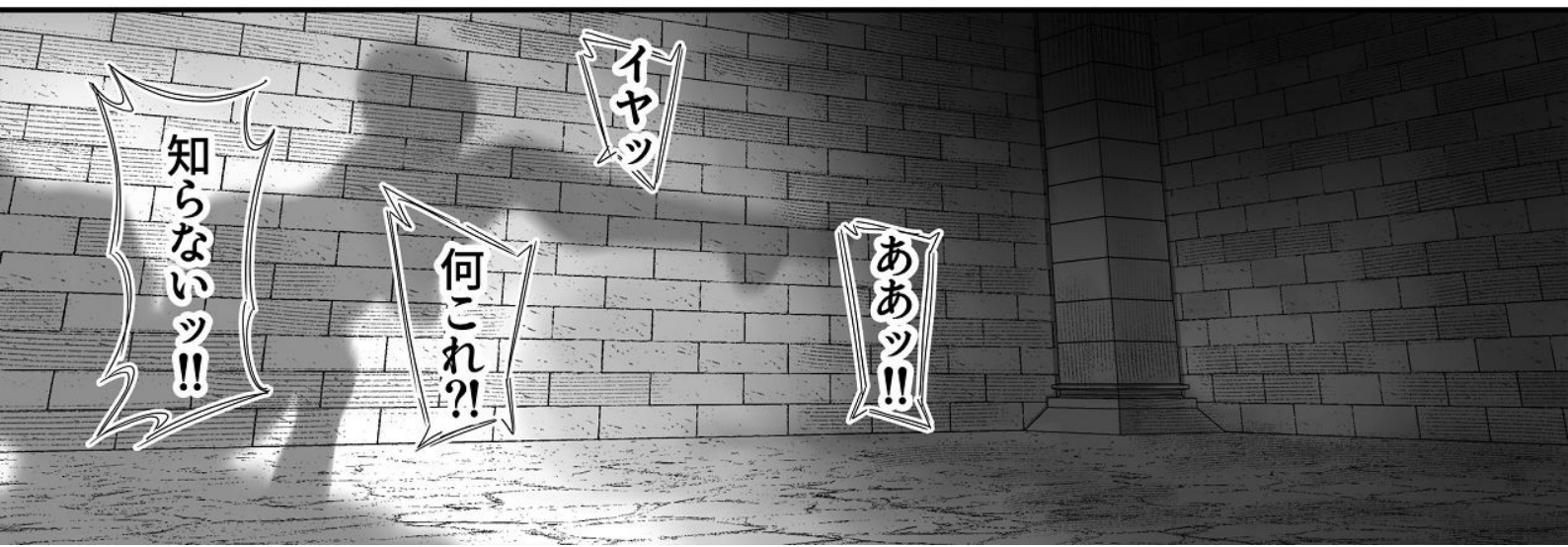
くぐ

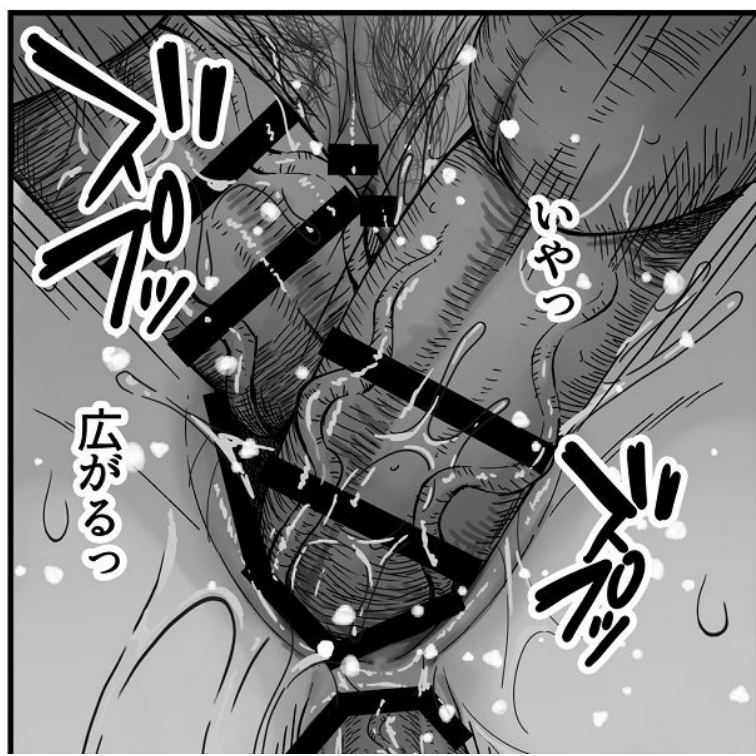
もう限界!!

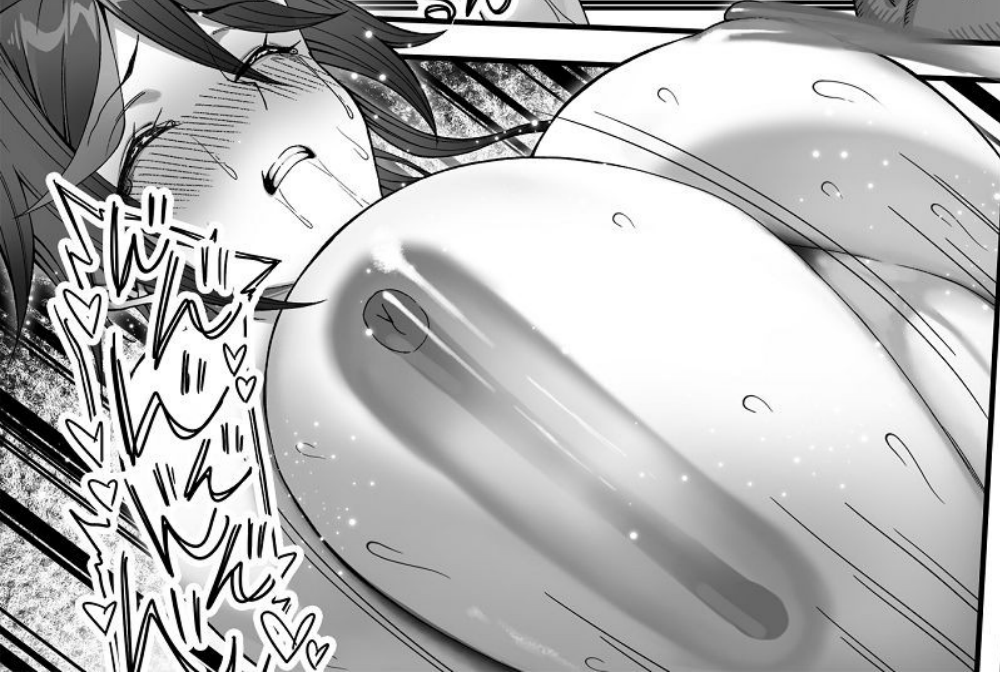
やっと

くぐ



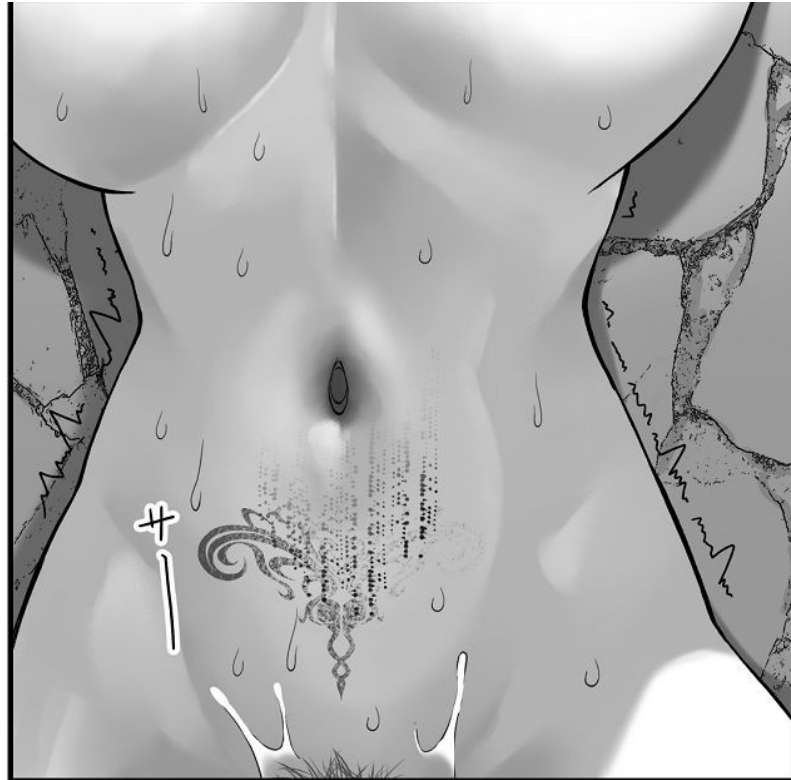
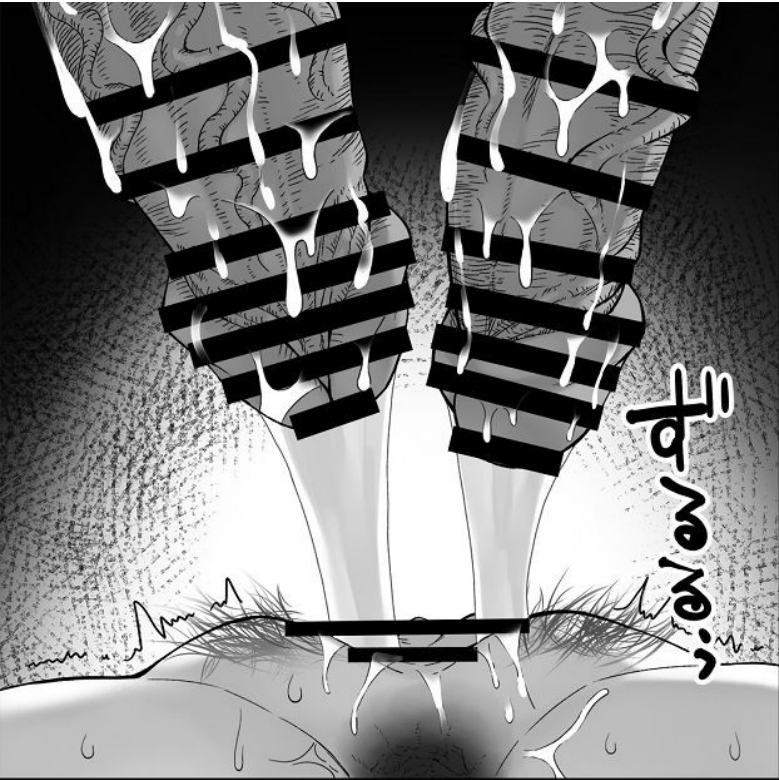






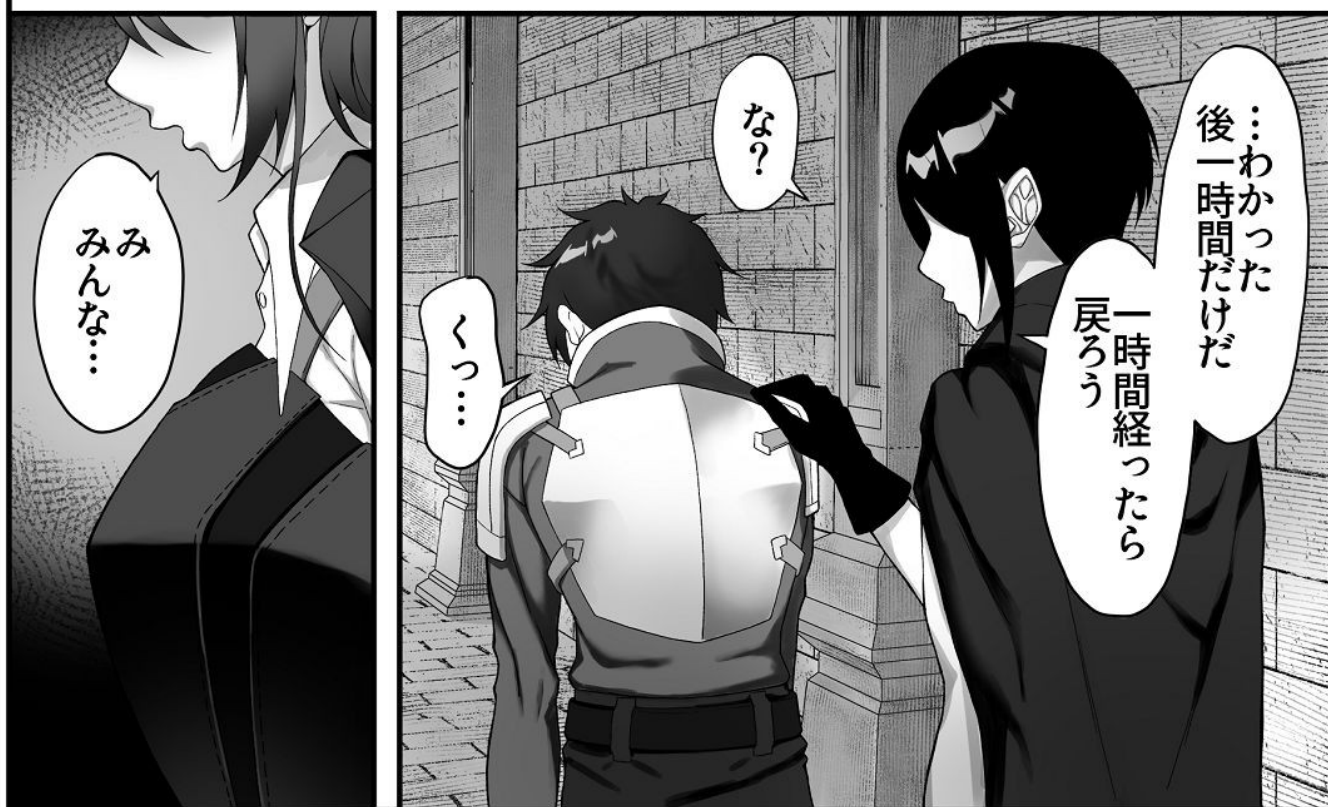


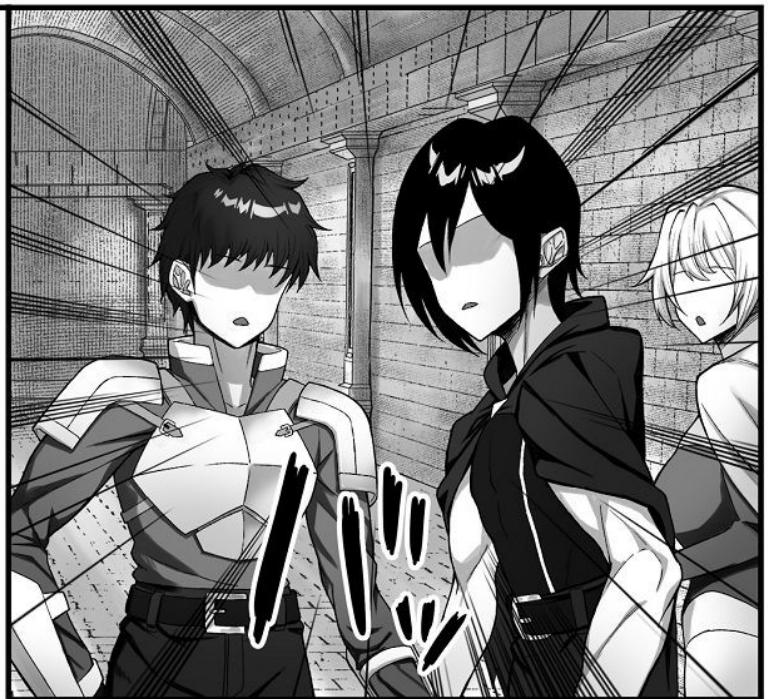














それじゃあ
皆んな
帰ろう！

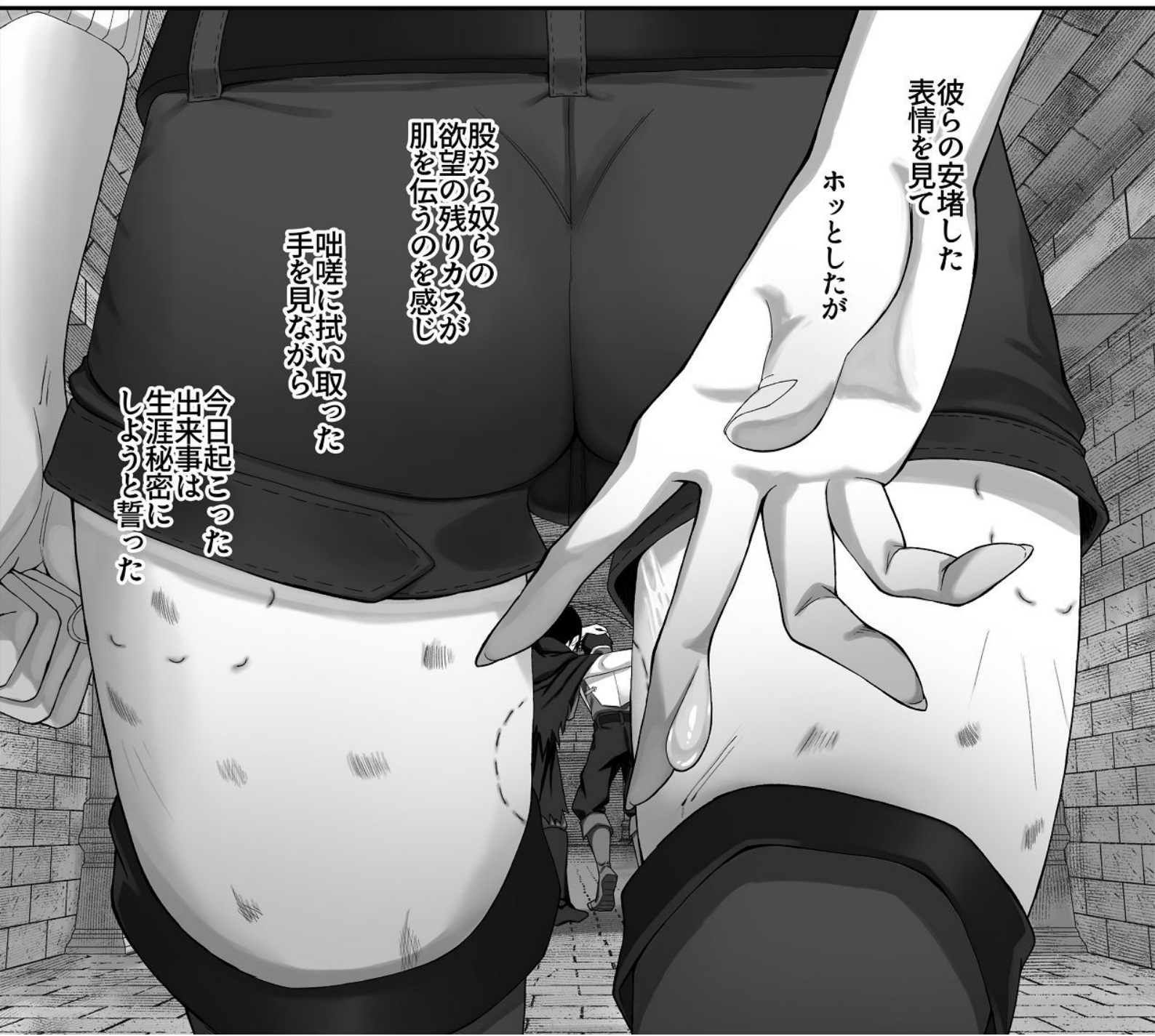


今まで
どうしてた？

そっか…
無事で本当に
良かったよ

うん…

うん…
セーフルーム
見つけて…
一人で居た…



彼らの安堵した
表情を見て

ホッとしたが

股から奴らの
欲望の残りカスが
肌を伝うのを感じ

咄嗟に拭い取った
手を見ながら

今日起こった
出来事は
生涯秘密に
しようと誓った

無断複製・転載・絵の無断使用・webへのアップロード等を固く禁止します

また本作品をいかなる言語に翻訳して

転載・web上へのアップロードすることも禁止します

未成年者の閲覧・購入を禁止します